



**特定非営利活動法人**  
**ニッポン・アクティブライフ・クラブ**  
 事務局:大阪府中央区常盤町2-1-8MIRO谷町4階 〒540-0028  
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130  
 ホームページ <http://nalc.jp> **毎月1回 10日発行**  
 Eメール編集室...[kaiho@nalc.jp](mailto:kaiho@nalc.jp)

# 2014年度事業計画案出る

## 5月26日 仙台市電力ホールでの総会で決定

### 行動をもとに改革を成功させる

「東日本大震災の被災地で20周年記念イベントと総会を開いて、被災者支援の輪を継続させ、それをバネにナルク再生発展の礎を築こうではないか」という声が全国の各拠点から澎湃(ほうはい)として起こり、1月末現在、参加する会員が1300名に上るとしている。2泊3日の行程のうち、2日間はボランティア活動、植樹、慰霊ウォーク、被災地見学に充てられる。平均年齢70歳のナルク・シニアパワーが東北で爆発する。新年度事業計画案の基調は「東北でのナルクらしい行動力の発揮を一過性の物にしないうちで1年間継続させる。そして、このところ論議している改革の諸課題にチャレンジし、着実にその果実を手中にする」とこととした。

#### ① 研修会を数多く開こう

実践教育家、森信三先生が「人間の真価は60歳からの生き方で決まる。従って現役時代の3〜5倍の緊張感を持って生きなければならぬ」と説いた教えに賛同して、ナルクの理念を作り、活動を開始した。人生90年代を迎えて、ますます先生の教えに感化させられる人が多くなっている。少子高齢化、IT化、グローバル化と、大変革の波が次々と押し寄せ、これらに力をつけても勉強することになる。高年齢になっても勉強することを目指す。新しい価値観を身につけて、若い人たちと対等に伍していけるかどうか、また、さらに歩を進めて新社会を担っていけるようになりたいものである。学んで行動し、行動して反省し、また学ぶ。この繰り返しを行いながら人生を全うする。そんなナルクの会員が増え

て来り、これらに力をつけても勉強することを目指す。高年齢になっても勉強することを目指す。新しい価値観を身につけて、若い人たちと対等に伍していけるかどうか、また、さらに歩を進めて新社会を担っていけるようになりたいものである。学んで行動し、行動して反省し、また学ぶ。この繰り返しを行いながら人生を全うする。そんなナルクの会員が増え

### 季の輝き



盤梯のお釜

写真・隈井九州男

「会員が増えず、

「議論、評論よりまず実行

「議論、評論よりまず実行

「議論、評論よりまず実行



研修会を数多く開こう

「議論、評論よりまず実行

「議論、評論よりまず実行

「議論、評論よりまず実行

「議論、評論よりまず実行

「議論、評論よりまず実行

「議論、評論よりまず実行

きするために、時間預託をとり入れた。ボランティアをしな

立つようにと、多様な同好会を設立し、同好会で人間関係ができれば、ボランティア活動の提供者になつてくれることも容易だと思ひ、ある拠点では三役が同好会の会長と話し合い、会長自らボランティア提供者になつると同時に、コーディネーターまで務めてくれた。担い手の不足を同好会参加者の働きで見事に解決できた一例である。

また、時間預託制の再検討をしなければならぬ場面も出てこよう。

ナルクの組織も、顔の見える最小行政単位にしようと、ブロック制の確立を推奨してきたが、世の中の変化が急速に進み、いまや全拠点が実施しなければ生き残れないようになってきている。

ブロック制は、親睦・研修の場だけでなく、時間預託ボランティアで、子育て支援、高齢者の助け合いを実施する際の強力な武器になる。ブロック制を採用して、会員20人に一人のコーディネーターを置いて、時間預託活動を高めてもらいたい。当然のことながら、コーディネーター養成講座も拠点で企画して欲しい。本部は講師の派遣など支援する。

80歳を超えた会員たちが自主的に集まつて「八十路会」を作り、「ボランティア提供の担い手を続けていく申し合わせ」をされている。身体は「せ」をされている。と心強い。身体は定期点検、手入れを現してもらいたい。そのために、高齢者でもやれる活動を考え出し、示していく

ことが大切である。高齢者に可能な活動の一例。

- ・事務所当番
- ・拠点会報の編集、手配り
- ・子供を預かつて勉強を教える
- ・特技や趣味を生かしたボランティア
- ・市民後見人活動
- ・子供へ伝承遊びを教える

若いお母さんと子供たちの「親子の集いの広場」、里山を保全し広場や遊び場を作つて子供たちを自然の中で遊ばせる「野外冒険広場」、

若いお母さんと子供たちの「親子の集いの広場」、里山を保全し広場や遊び場を作つて子供たちを自然の中で遊ばせる「野外冒険広場」、

会員の平均年齢が上がるにつれて、若いときに貯めた預託点数を引き出して、自分のために使いたい、というニーズが多くなっている。

そんな時、拠点事務所へ電話一本かければ、すぐに担い手(提供者)が駆けつけてくれる、とPRしてきた。

「何か複雑な書類があるのだから」といった心配や疑問が後を絶たないようだ。

早速に電話当番者を訓練して、会員のニーズに応えられるように訓練しておかなければならない。

事前に本部に相談すれば、テキストの確認してもらいた

また、任意後見の契約方法、その後の法的活動について「ナルク市民後見人委員会」が個別に相談にのってくれる。

「電話当番マニュアル」を作成する方針である。担い手は比較的元気な高齢者会員にお願いすることになるだろう。

「電話当番マニュアル」を作成する方針である。担い手は比較的元気な高齢者会員にお願いすることになるだろう。



入口は同好会でも、主体はボランティア活動

新しく代表になった人の中に、この養成講座に自主的に参加する人もいますが、大多数は3日の日程をとることが困難で、とりわけ遠隔地の代表は難しい。そこで、養成講座とは別に、新しく就任した代表を対象にした「代表者研修会」を実施する。

大転換期に当たると、ナルクの基本理念を知り、医療と介護が一体となる地域包括ケアの構想など、社会保障の変遷を学び、拠点の進むべき道を見いだしていただく。

この「代表者研修会」は、東京と大阪

「ナルク(NALC)」とはNPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(Nippon Active Life Club)の通称です。

20周年記念行事拠点別参加者一覧

Table with 4 columns: 拠点名, 人数, 拠点名, 人数. Lists participants from various regions like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.

5月25日(日)被災地支援活動について

Table with 5 columns: 地域, 項目, 内容, 出発地, 時間, 人数. Details activities like '慰霊ウォーク' and '植樹'.

20周年記念行事まであと2か月 拠点別参加者数と支援活動固まる

25日の支援活動に 参加する。内容は 次の通りである。 (1) 慰霊ウォークは3コースを予定していたが、2コースに変更、約4時間かけて電力ホールに到着する。

子育て支援「大規模研修」 1月8日大阪市立こども文化センター

は、浪江町商工会の協力で穴掘りをしてもらえ、苗植えと水やりだけ。南相馬市の2か所は穴掘りから始める。

コーデイネーターには、こども未来財団の岡林一枝氏が当り「今子供たちのためにできること」

第2回関東 八十路会を開催 12月16日(月)、午後2時半から、第2回の関東八十路会が「東京・霞ヶ関キスパート倶楽部」

午後1時半から、東大阪・大東拠点事務所第3回「めざめ八十路会」が開かれました。

友達ができず、孤立しがちな会員、最近入会した会員に、それぞれ「呼びかけ人」誘い合わせ人

国立文楽劇場三十周年記念 菅原伝授手習鑑 4月5日(土)〜27日(日)

東大阪市まちづくり意見交換会

1月24日 100名近くが集まり第4回の会合

ナルクの地域包括ケアモデル市である東大阪市で、1月24日、第4回のAリジョン集

参加者のスピーチがあり、あとは川崎の田中夫妻のシヤンソンや、懐かし

第3回めざめ八十路会開催 1月19日(日)、

文楽4月公演は、お馴染みの「菅原伝授手習鑑」です。今年には国立文楽劇場が

菅原伝授手習鑑 第一部(午前10時30分開演) 初段 大内の段 加茂堤の段

